

令和6年度 協働により推進したい取組(第7次府中市総合計画 分野別の施策)の進捗状況

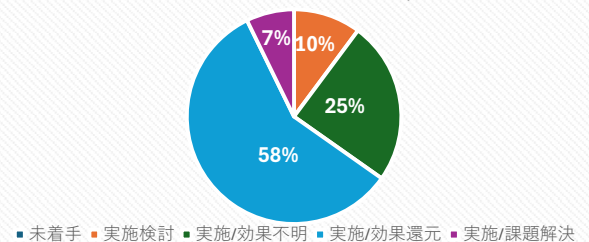
【令和6年度評価段階】

	評価段階
1	未着手
2	協働による実施を検討した
3	協働で実施したが、市民への還元効果については不明確である (R4評価指標:協働により実施した)
4	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた (R4評価指標:協働による相乗効果を得ることができ、その効果を市民に還元することができた)
5	協働で実施したことにより、課題の解決に結びつく成果を市民に還元できた (R4評価指標:これまで対応が難しかった課題や新たに生じた課題に協働で解決策を導き出すことができた)

1.各施策の評価(自己評価)

評価段階	R4年度	R5年度	R6年度
未着手	4	0	0
実施検討	7	9	7
実施/効果不明	41	15	17
実施/効果還元	15	40	40
実施/課題解決	2	5	5
合計	69	69	69

R6年度各施策の評価



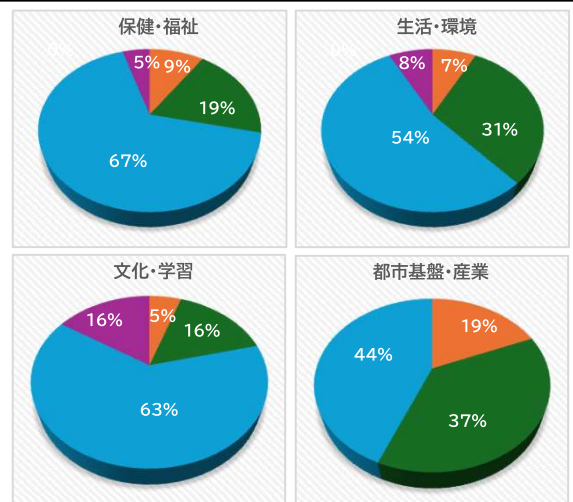
【まとめ】

- ・「未着手」の件数については前年度に引き続き0件となっており、令和4年度と比較すると進捗している。
- ・「実施検討」の評価件数が前年度比で2件減少しており、評価段階3～5の「協働で実施した～」という評価の件数合計は令和4年度58件、令和5年度60件、令和6年度62件と順調に増加している。

2.分野別の進捗状況

評価段階	保健・福祉	生活・環境	文化・学習	都市基盤・産業	合計
未着手	0	0	0	0	0
実施検討	2	1	1	3	7
実施/効果不明	4	4	3	6	17
実施/効果還元	14	7	12	7	40
実施/課題解決	1	1	3	0	5
合計	21	13	19	16	69

【凡例】 ■未着手 ■実施検討 ■実施/効果不明 ■実施/効果還元 ■実施/課題解決



【まとめ】

- ・評価段階5の「実施/課題解決」と評価した施策の件数割合は「文化・学習」分野が最も高かった。
- ・「都市基盤・産業」分野については評価段階5の「実施/課題解決」と評価した施策件数が0件と低かったうえ、評価段階2～3の「実施検討」や「実施/効果不明」の割合も他分野と比較して高かった。
- ・評価は各課の自己判断であり、評価の判断が課によって異なる可能性があるため、評価方法が各課共通のものとなるよう案内することが望ましい。そのうえで、成果が出にくい分野があるのであれば、その原因などの分析が望まれる。